

2022年9月30日



## 「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～久野金属工業株式会社のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、久野金属工業株式会社（代表取締役 久野 忠博）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

### 記

1. 契約締結日 2022年9月30日（金）
2. 融資金額 100百万円
3. 融資期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

### 6. 久野金属工業株式会社の概要

代 表 者	久野 忠博
本社所在地	愛知県常滑市久米字池田 174 番地
業 種	自動車部品製造業
創 業 年 月	1947 年 2 月

### <記念盾贈呈式の様子>



株式会社名古屋銀行  
半田支店長 山口 秀樹

久野金属工業株式会社  
代表取締役社長 久野 忠博 氏

※写真撮影時のみマスクを外しております。

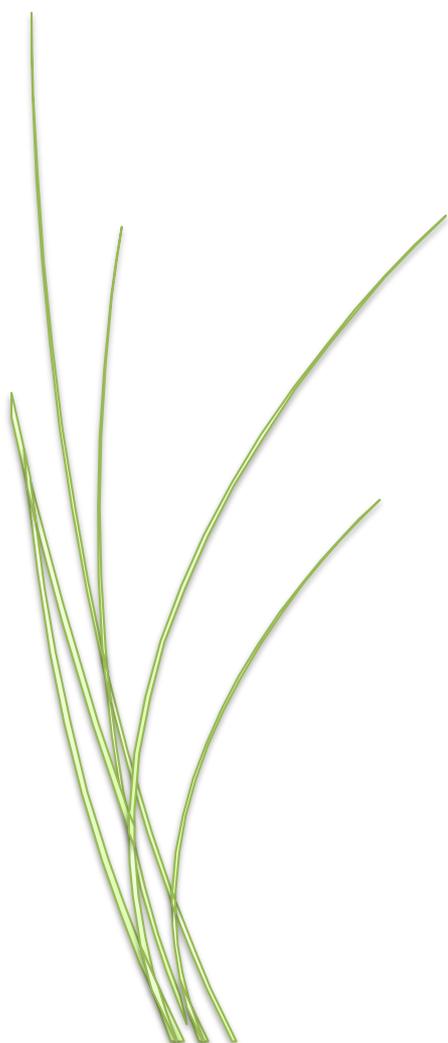
参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

[https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin\\_PIF.pdf](https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf)

以 上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

## ～久野金属工業株式会社～



2022年9月30日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、久野金属工業株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎんPIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、久野金属工業株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	久野金属工業株式会社
所在地	愛知県常滑市久米字池田 174 番地
従業員	352 人
売上高	9,024 百万円
事業内容	自動車部品製造業

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

## 目次

1. 企業情報	.....
①会社概要	
②沿革	
③事業概要	
④社訓・企業理念	
2. 事業内容	.....
①自動車部品製造事業	
②太陽光パネル取付金具製造事業	
③IoT 事業	
3. その他の活動・CSR 活動	.....
①従業員への取組	
②地域活動への貢献、教育機関支援活動	
4. インパクトの特定	.....
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
④海外のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	.....
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	.....
7. モニタリング方法	.....
8. 総括	.....

## 1. 企業情報

### ①会社概要

会社名	久野金属工業株式会社
創業年月	1950年11月
資本金	80,000,000円
代表者	代表取締役社長 久野 忠博
決算日	8月31日
従業員数	352名
本社所在地	愛知県常滑市久米字池田174番地
常滑工場	愛知県常滑市久米字池田174番地
有松工場	愛知県名古屋市緑区野末町201番地
事業内容	自動車用及び産業用部品の設計・開発、金型製作、プレス加工、溶接、組立、機械加工、表面処理



常滑本社全景



常滑本社工場



南工場



東工場



金型工場



有松工場

## ②沿革

年月	概要
1947年	久野忠吉（元会長）、久野博淳（現名誉会長）が久野製作所を名古屋市南区にて創立
1950年	久野金属工業株式会社を設立
1952年	三菱自動車工業株式会社の協力会社となる 自動車部品の製造を開始
1964年	愛知県合理化優良企業として愛知県知事賞を受賞
1967年	中小企業合理化優良企業として中小企業長官賞を受賞
1973年	株式会社デンソーの協力会社となる 自動車電装部品の製造を開始
1974年	優良申告法人として熱田税務署長より表敬を受ける
1978年	中小企業庁より中小企業合理化モデル工場の指定を受ける
1979年	NTN株式会社の協力会社となる
1980年	アスモ株式会社の協力会社となる プレスラインのQDC化を進め、合理化を推進 名古屋通商産業局より電気使用量合理化企業として表彰を受ける
1981年	有松工場を建設し、金型・試作部門を強化
1985年	2D・3D CAD/CAMを導入 金型設計製作の合理化を推進
1987年	ロボットプレスラインの自社開発を開始（現在、すべてのロボットが自社製）
1989年	アイシン精機の協力会社となる 優良申告法人として表敬を受ける（4度目）
1990年	有松工場増築し、FMSを推進
1992年	中小企業合理化モデル工場の指定を受ける（7度目）
1997年	愛知県常滑市に常滑工場を建設 新しいレイアウト思想に基づき、FMS化したスマートな製造ラインと自動搬送システムを実現
1999年	タカタ株式会社、Autoliv株式会社、豊田鉄工株式会社の協力会社となる
2000年	品質管理国際規格 ISO9001 認証取得
2001年	環境国際規格 ISO14001 認証取得 久野 修が社長に就任
2002年	三菱電機(株)の協力会社となる
2003年	品質国際規格 ISO9001 2000年版更新認証取得

2004年	常滑工場敷地内に金型工場を建設 金型部門を強化し生産効率を高める
2005年	愛知ブランド企業の認定を愛知県より受ける
2006年	超精密マシニングセンターによる高精度・高速・長時間の加工システムの構築を実現 日立オートモティブシステムズ株式会社の協力会社となる
2008年	常滑工場敷地内に南工場を建設 常滑工場東に東工場を増設
2009年	内閣総理大臣表彰 第3回ものづくり日本大賞『優秀賞』受賞
2010年	型技術協会『型技術論文賞』受賞
2011年	素形材産業技術賞『経済産業大臣賞』受賞
2012年	豊田鉄工株式会社『技術賞』受賞
2013年	豊田鉄工株式会社『品質優秀賞』受賞 経済産業省『グローバルニッチトップ企業100選』受賞 全日本製造業コマ大戦 碧南特別場所『優勝』 豊田鉄工株式会社『原価改善優良賞』『技術開発賞』受賞 シロキ工業株式会社の協力会社となる
2015年	全日本製造業コマ大戦 東京ビックサイトインターモールド場所『優勝』 久野 忠博が社長に就任 フタバ産業株式会社の協力会社となる
2016年	アイシン精機株式会社 高精度・大物プレス加工の実現『技術優秀賞』受賞 経済産業省『攻めのIT経営中小企業百選』受賞
2018年	中部IT経営力大賞『大賞』受賞 経済産業省『はばたく中小企業300選』受賞 中小製造業の生産性を高める月額サービス『IoT GO』発売 厚生大臣賞 現代の名工受賞（社員） 経済産業省より『地域未来牽引企業』選定
2019年	愛知環境賞 受賞

### ③事業概要

当社は自動車をはじめとするプレス部品に、工法開発から製品設計、金型設計・製作、プレス加工、機械加工や溶接、熱処理等の二次加工まで一貫して行う金属加工メーカーである。多岐にわたる要素技術の組み合わせと、創業より積み重ねた熟練の金型技術、自社開発の多彩な設備群により、難易度の高い「複雑高精度プレス加工」に対応する。

また、プレス加工の前後工程をすべて手がける一貫体制により、開発時からプレス後の加工も見据えた製品づくりが可能となっており、製品図には表れない「後工程を考えた製作図」を作成することで、量産時に起こりうる問題を未然に防ぐほか、各工程の組み合わせによる精度も実現。製品図のみの依頼から、形状・精度を確実・スピーディーに形にすることを強みとしている。



当社製品概要

また、関連会社である株式会社マイクロリンクにおいて、「IoT GO」「IoT GO DX」を開発。工場のDX化を進める企業に対してのサービス提供を実施している。このクラウドサービスは、当社の製造ラインにおいて実施検査を重ね、現場での利便性を追求して開発されており、関連会社と当社のシナジーにより、サービス向上に努めている。

④社訓・企業理念



当社は社是を「幸福・奉仕・繁栄」としており、顧客・従業員・社会全体への貢献を企業価値としている。その実践として、経営理念を「技を鍛え、和を育み、夢を実現する」とし当社全体に浸透している。

また、当社の社是や経営理念は会社方針や環境方針を年度方針として策定することでも従業員の意識を高めており、持続可能性の高い企業形態とガバナンスを維持している。

## 2. 事業内容

### ①自動車部品製造事業

当社の主要業種は自動車部品製造であり、高度な設計技術と多くの設備により、様々な要素の技術力を保有している。この技術力により、多様な自動車部品を高品質で製造・加工することが可能となっている。本項においては、当社の設計、金型製造、二次加工等の特徴及び技術力について記載する。



自動車部品製造事業概要



金型設計技術

当社の設計力は高く、製品の成形工程、生産設備の仕様、各工程の機能、高精度かつシンプルな金型構造、組立調整・修理の容易さ等、あらゆる条件を考え合わせ正確に図面化するノウハウを蓄積している。

様々な加工条件の影響を受けやすく、経験や金型構造だけでは良品の実現が難しい「ハイテン材」では、金型部品の最適な見込み形状をシミュレーション技術により作成し、確実な設計を可能にしている。



金型部品加工技術

設計に基づき、精度の高い金型部品づくりに欠かせないのが高精度な設備群であり、当社では1/10000mm 制御ジグボーラー4台やワイヤーカット放電加工機など全設備を精度にこだわり選定している。最新のツーリングと合わせて加工時間の短縮と高精度加工を両立し、加工精度を左右する「段取り」に必要なジグも、自社で設計・製作を行っている。



トライ調整技術

組み立てた金型を、製品図通りのプレス部品が作れるように最終調整する「トライ調整」は、素早く確かな「熟練工のセンス」が必要とされ、とくに複雑高精度プレスでは、成形工程が多いため「あと少し」の調整で出来栄が大きく左右される。当社は創業より金型の職人技を絶やさず積み重ね、調整においても高い技術力を発揮している。

上記の通り、設計、工法開発から金型製作、プレス加工、2次加工にいたるまで、30種類を超える機械設備が稼働しており、用途によって適切で精度な加工・生産を可能にしている。

機械設備については、「生産用」、「金型用」、「検査用」と分けられているが、受注からこれらの設備が能率的に稼働し、納品までの一貫生産を可能にしている。

・生産用主要設備

設備名	能力	台数
1200トン順送 GMAXサーボプレス	1200トン	2
800トン順送 GMAXサーボプレス	800トン	1
600トン順送 GMAXサーボプレス	600トン	2
500トン順送 プレス (アイダ)	500トン	4
300～110トン順送 プレス (アイダ他)	300～110トン	16
トランスファープレス	300～80トン	4
ロボットサーボプレス	250～200トン	8
ロボットプレス (アイダ他)	250～80トン	92
タンデムプレス (アイダ他)	110～20トン	37
油圧プレス	400トン	1
スポット溶接ロボット	5～3軸	40
CO2溶接ロボット	5軸	10
NC旋盤 (マザック他)	プレス後加工用	9
マシニング (キタムラ他)		4
洗浄機 (炭化水素他)		2
定置式スポット溶接機		131
レーザーマーカ (キーエンス)		1
バランス測定器		1
自動倉庫 (製品+金型用1トン)		9 (5,400パレット)
自動倉庫 (ポリ用)		4 (5,00ポリ)
自動倉庫 (大型用 5T+3T)		4 (1,000棚)
ロボクレーン	コイル材自動搬送	1



1200 トン GMAX 順送 サーボプレス



スポット専用溶接ロボット

・ 金型用主要設備

設備名	能力	台数
プレス成形解析ソフト		1
2D・3D-CADCAM	金型設計・NCデータ作成	10
超精密CNCジグボーラー（安田工業）	1200×800他	3
超精密横型マシニング（安田工業）	850×750	1
ワイヤーカット放電加工機（三菱電機）	800×600他	8
5軸加工機（DMG）	φ600×600	1
NC旋盤（横型+縦オオクマ）	φ900×530他	3



2D・3D CAD CAM



超精密 CNC ジグボーラー超精密横型マシニングセンタ

・ 検査用主要設備

設備名	能力	台数
三次元測定機（ミットヨ他）	705×1005×605他	4
非接触三次元測定機	カメラ式	1
形状測定機（ミットヨ）	200×60	1
デジタルマイクロスコープ	×1000	1
真円度測定機	φ200	1
万能引張測定器	10000kg	1
マイクロビッカース	100・400倍	1



三次元測定機



デジタルマイクロスコープ

これらの設備や技術力により、当社で加工・製造される自動車部品は多岐に亘る。具体的には、「精密絞り+板鍛造加工」によるドライブプレート、「ハイテン材・ステンレス材のプレス成形」によるブレーキレバー、「モーター部品のプレス成形」によるモーターハウジング、「ボディー・シート部品のプレス成形」によるアウトリガーやチルトアーム等、部品の特徴に合わせて切削加工、プレス加工をすることで精度と生産性を高めている。



精密絞り+板鍛造加工

精密絞りと板鍛造加工を組み合わせることで、切削加工並みの寸法精度を実現した複雑形状のプレス成形を可能にしている。これまで板鍛造+切削加工で作られていた製品もプレス量産化でき、大幅なコストダウンに貢献することが出来る。



ハイテン材・ステンレス材のプレス成形

高度な金型技術・加工技術を要する「超ハイテン材・難加工材」の複雑3D形状プレス加工に対応。

高精度3Dスキャナーによるリバースエンジニアリング等、金型設計に3Dシミュレーションを活用し、より最適な見込み形状を作り込んでいる。

また、形状凍結工法により製品のバラツキを抑制、1200トン順送プレスにより、大型製品にも対応する。



モーター部品のプレス成形

従来のプレス技術では成形が難しいモーターハウジングの高精度プレス（厚板ハイテン大型深絞り）に対応。自社開発の特許金型「CLD（クッションレス金型）」や特殊キャリアーなどにより、順走プレス化を実現。アルミダイキャスト+切削加工と比べて、大幅なコストダウンを可能にしている。



ボディー・シート部品のプレス成形

5mのボルスターを持つ最大1200トン順送プレス、最大15工程を構成できる110トンプレスライン、さらに2020年度に最新の最大10工程200トンラインを導入し、厚板ハイテン材の順送プレス製品から多工程が必要な複雑な形状も対応する。



エクストリームブランキング

順送プレス機にて、ファインブランキング製品と同等以上の精度を実現する加工法であるエクストリームブランキングを導入。外形・寸法はもちろん、せん断面の平滑さや直角度においても優れた精度を実現している。

当社の高精度・高品質な自動車部品製造は、CADを活用した設計力や、多様な機械設備による部品の特徴に合わせた加工技術、加工工程や検査における技術者の確かな技術力により裏打ちされている。また、ハイブリッドやEV向け部品を多く手掛けており、自動車部品製造事業は環境負荷を軽減することへの期待も含めて、当社の主要事業として拡大していく方針である。

## ②太陽光パネル取付金具製造事業

当社は自動車部品事業に加えて、太陽光パネル取付金具を自社製品として製造している。自動車ですべての自動化設備と高強度材（590ハイテン材）を使うことで、コストダウン・強度アップ・軽量化を確立し、業界で最も難しいメーカーの試験スペックに合格している。

部品構成を少なくし、シンプルな構造とすることで作業性を向上させることが可能となっており、パネル設置業者の作業能率を考慮した機能性の高い製品となっている。自動車部品製造が主要業種であるものの、太陽光パネル取付金具事業はサステナビリティの観点からも今後のニーズに対応する。



太陽光パネル取付金具

### ③ I o T 事業

当社は、1980年代のFA用ロボット開発以来、ICTの活用に注力しており、自社サーバー、IoT、クラウドを併用し、生産管理から金型管理、品質管理、EDI仕入先管理、自動倉庫管理まで自社専用のシステム群を導入。モバイル端末を活用した生産工程改善、職人のカン・コツの仕組み化などICTにより熟練技の自動化も進め、人が考える仕事に集中できる環境を作り、技術力の強化を図っている。

また、近年では関連会社である株式会社マイクロリンクとのシナジーにより自社及び顧客へのIoT化やDX化サービスを実施、共同開発した「IoT GO」や「IoT GO DX」は、ペーパーレス化や業務管理、業務マニュアルとしても機能するサービスを提供している。導入工場の見学会を実施し、実際の利用価値を肌で感じる事が可能となっている。



I o T G O D X

I o T 事業は今後も需要が見込める為、引き続き開発や推進を継続する。SDG s の観点からも、ペーパーレス化や、効率化による無駄を省くことにより、環境保護や従業員の作業効率アップにつながると考えている。

### 3. その他の活動・CSR活動

#### ①従業員向けの取組



技術認定制度

各社員が、合理化・省力化に向けた提案など業務関連のレポートを年1回提出、それを10級～1級までの評価に審査する技術認定制度を設けている。社内の7級は国家資格の2級技能士に相当。正当な評価を社員の意欲向上につなげている。



教育研修

金型設計や加工など当社ならではの高度な技術を伝授する技術指導を念入りに実施。外部団体主催の研修会への参加も奨励している。また技術検定国家資格取得の助成、改善提案制度等にも力を注ぎ、次代を担う人材育成とモチベーションを高める取組を実施している。



QCサークル活動

当社は1972年からQCサークル活動を開始、業務の改善・社員の自己啓発につなげている。これまでQCサークル東海支部大会で4回の発表、なごや中小企業TQC発表会では銀賞1回・金賞2回を受賞。

社外でもその成果が評価されている。



SDG s 勉強会

当社は2022年4月、従業員に向けたSDG s及び、カーボンニュートラルの勉強会を実施。

外部講師によるカーボンニュートラルへの取組の必要性や、持続可能性を意識したSDG sの重要性を会社全体で考える機会を提供している。



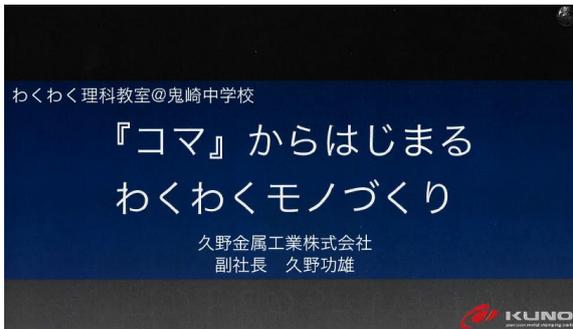
クラブ活動の様子

当社は従業員の為のクラブ活動も積極的に実施している。バドミントン部は実業団リーグにも所属し、全国大会に出場するなどの活躍をしている。

社内にはフットサルコートが整備され、休憩時間の有効活用として従業員に提供している。

## ②地域社会への貢献、教育機関支援活動

当社は、ものづくりを通じて様々な取組を実施している。代表的なのは、中小企業コマ対戦の参加や、その取組を広げる為の教育機関向けの講義や企業紹介である。また、地域の花火大会への協賛や祭りへの協力もしており、地元自治体との共存においても継続的な取組を実施している。



コマ大会の様子や、自社の製品開発を紹介

#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により久野金属工業株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。久野金属工業株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。久野金属工業株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については久野金属工業株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に久野金属工業株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

・川上の事業

インパクトカテゴリ	川上の事業															
	【 0710 】		【 0729 】		【 0899 】		【 2410 】		【 2431 】		【 2610 】		【 2620 】		【 2630 】	
	鉄鉱業		その他の非鉄金属鉱業		他に分類されないその他の鉱業及び採石業		第一次鉄鋼製造業		鉄鋼鑄造業		電子部品及び基板製造業		コンピュータ及び周辺装置製造業		通信装置製造業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）		★★		★★		★★										
食料																
住居							★		★		★					
健康・衛生		★		★		★		★		★		★				★
教育																
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー																
移動手段																
情報											★					★★
文化・伝統																
人格と人の安全保障		★★		★★		★★										
正義																
強固な制度・平和・安定																
水（質）		★★		★★		★★		★		★		★		★		★
大気		★		★				★		★		★		★		★
土壌		★★		★★		★★		★★		★★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス		★★		★★		★★		★★		★★		★		★		★
資源効率・安全性		★★		★★		★★		★★		★★		★		★		★
気候		★		★		★		★		★		★		★		★
廃棄物		★★		★★		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★		★		★		★	
経済収束																

当社は取り扱う部品が金属性のものが大部分を占める為、川上の事業においては主に鉄鉱業や金属加工を抽出した。加えて、IoT 事業においてクラウドサービス等を展開している為、電子機器関連の分野においても川上に掲載する。

全体として環境面にネガティブインパクトが散見される一方で、電子機器関連の分野において住居や情報にポジティブインパクトが見られる。

当社から川上の事業に対して能動的なアクションを起こすことは現実的ではないが、当社としての KPI にはこれらのインパクトを拡大、緩和するものを取り入れる。

・ 当社の事業

インパクトカテゴリ	同社事業									
	【 2591 】		【 2592 】		【 2599 】		【 2811 】		【 2813 】	
	金属の鍛造、プレス、打ち抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業		金属の処理・塗装・機械加工業		他に分類されないその他の金属製品製造業		エンジン及びタービン製造業（航空機用、自動車用及びオートバイ用エンジンを除く。）		その他のポンプ、圧縮機、タップ及び弁製造業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）									★	
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段							★			
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★		★		★		★		★
大気		★		★		★		★		★
土壌								★		★
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性		★		★		★		★		★
気候		★		★		★		★		★
廃棄物		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★	
経済収束										

インパクトカテゴリ	同社事業									
	【 2814 】		【 2819 】		【 2822 】		【 2910 】		【 2930 】	
	軸受け、ギア及び伝導・駆動装置製造		その他の一般機械製造業		金属成形機械及び工作機械製造業		自動車製造業		自動車部品及び付属品製造業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）								★★		
食料										
住居										
健康・衛生								★★		★★
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段	★						★★	★	★	★
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										★
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★		★		★		★		★
大気		★		★		★		★		★
土壌		★		★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性		★		★		★		★★		★★
気候		★		★		★		★★		★★
廃棄物		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★		★		★	
経済収束							★		★	

当社の主要業種である自動車部品製造や、金属処理・加工等においてインパクトを検証する。包括的で健全な経済、移動手段、雇用にポジティブインパクトが見られる。

移動手段の拡大におけるポジティブについては、KPIにおいて、今後更に主流となるEV車両等の取扱を増加させることを目標設定する。また、環境面のネガティブインパクトについては、自社工場のカーボニュートラル化やCO2排出量削減を実施することで緩和を図る。

・川下の事業

インパクトカテゴリ	川下の事業											
	【 2910 】		【 4510 】		【 4520 】		【 4530 】		【 4540 】		【 4730 】	
	自動車製造業		自動車販売業		自動車整備・修理業		自動車部品・付属品販売業		オートバイ及び関連部品・付属品販売・整備・修理業		専門店による自動車燃料小売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）		★★										
食料												
住居												
健康・衛生		★★		★		★		★		★		
教育												
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー												
移動手段	★★	★	★★		★★		★		★		★	
情報												
文化・伝統												
人格と人の安全保障												
正義												
強固な制度・平和・安定												
水（質）		★										
大気		★		★				★		★		
土壌		★				★				★		★
生物多様性と生態系サービス												
資源効率・安全性		★★		★				★		★		
気候		★★		★				★		★		★
廃棄物		★		★		★		★		★		
包括的で健全な経済	★										★	
経済収束	★											

川下の事業は大手自動車メーカー等である為、当社による能動的な施策やインパクトの拡大・縮小は困難であるが、サプライチェーンにおける存在力を高めることで業界全体のSDGsへの貢献に寄与する。

尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応するSDGsのゴールは、下記の通りである。

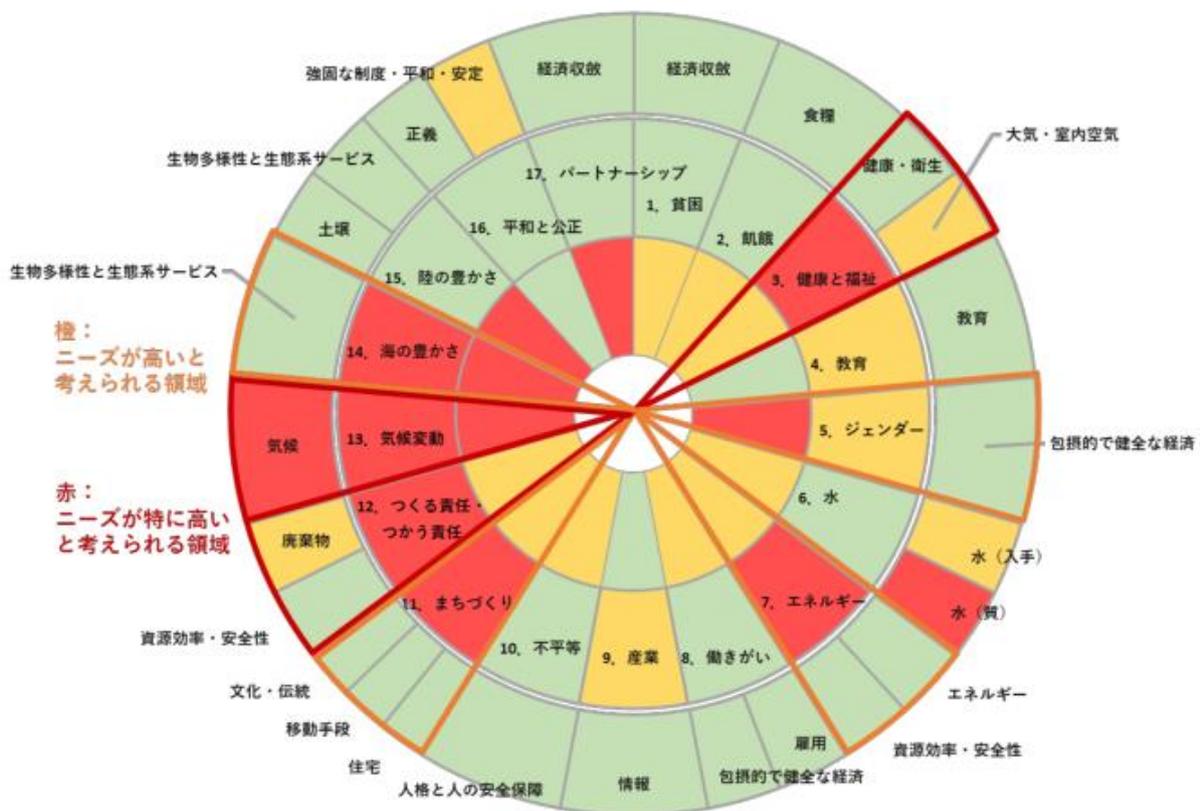
※対応するSDGsのゴール



### ③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべきSDGsを赤色、取り組むべきであるが不十分なSDGsを黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した久野金属工業株式会社のインパクトと対応するSDGsのゴール「3、6、7、8、9、11、12、13、14、15」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



#### ④海外のインパクトニーズ

久野金属工業株式会社売上の大きな割合を占めるのが自動車部品製造事業であるため、海外のインパクトニーズについても自動車の利用率や人口を基準として先進国における整合性を分析する。下記に示したのは、上記国々のSDGsインデックス&ダッシュボード2021を参照したものである。緑で配色されたゴール以外は、色が薄い順に「課題がある」、「重要な課題がある」、「多大な課題がある」となっている。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、それぞれの国々においても重要度が高いことが確認出来る。

#### ※各国のインパクトニーズ



絆をつくる、明日へつなぐ。



# Germany

OECD member



OVERVIEW INDICATORS POLICY EFFORTS



## SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



# France

OECD member



OVERVIEW INDICATORS POLICY EFFORTS



## SDG Dashboards and Trends

Click on a goal to view more information.



## 5. 測定するKPI

### ①自動車部品、IoTシステムの開発、製造、販売（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面・経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	
対応方針	経済潮流への対応、省人化、効率化による生産性向上
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造、加工する自動車部品のうち、ハイブリッド、EV車の部品が全体に占める割合を20%以上にする（実績開示）</li> <li>・自社及び関連会社で開発するIoT GO、IoT GO DXシステムを随時バージョンアップを図りながら販売数を増加させる（実績開示）</li> </ul>

### ②従業員のクオリティーオブライフの向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」「健康・衛生」
関連するSDGs	
対応方針	働くモチベーション向上、従業員の福利厚生・労働環境の充実
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員1人あたり年2回の業務改善策提出を目標とし、施策に対しインセンティブを与える（取組開示）</li> <li>・社内親睦会からの要求について施策を前向きに検討し、随時取入れる（取組開示）</li> <li>・2027年度決算期までに男女ともに育児休暇取得率を2021年度決算期対比50%向上させる（実績開示）</li> </ul>

### ③地域社会の発展への貢献活動（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「教育」「文化・伝統」
関連するSDGs	
対応方針	地域との関わりを尊重、地元教育機関との地域社会発展へ向けた協力
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントの協賛や地域活動に積極的に賛同する（取組開示）</li> <li>・地元中学校において、ものづくりの授業を実施、工場見学や企業紹介を随時実施し、ものづくりへの興味を発掘する（取組開示）</li> </ul>

## ④環境配慮・カーボンニュートラル実現に向けた積極的な取り組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「水（質）」 「大気」 「土壌」 「資源効率・安全性」 「気候」 「廃棄物」
関連するSDGs	   
対応方針	省エネ型製品への切替、定期的なCO2排出量の算出と継続的な削減努力
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年決算期までに順次、社用営業車を電動車（ハイブリッド含む）へ切り替える（実績開示）</li> <li>・2027年決算期までにCO2排出量を2021年決算期と比較して25.2%削減する（年間4.2%削減目標）（実績開示）</li> <li>・ISO14001の継続更新（実績開示）</li> <li>・新工場において、LED化、導入設備の省エネ化を実施しカーボンニュートラルへ対応する（取組開示）</li> </ul>

## 6. インパクトの管理体制

久野金属工業株式会社は久野社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び総務部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、久野社長と総務部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

### インパクト管理者

最高責任者	代表取締役社長 久野 忠博
管理責任者	執行役員 谷川 修治
管理部署	総務部

## 7. モニタリング方法

久野金属工業株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

久野金属工業株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。久野金属工業株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。